

---

第 97 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2005 年 10 月 20 日(木) 18 時 00 分~19 時 30 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 栗田 浩 氏 (信州大学医学部歯科口腔外科学・助教授)

タイトル: 顎関節の適応変化  
形態、病理組織及び生化学的变化の同期的観察を目指して

各種の侵襲 / 変化(咬合変化、外傷、炎症、顎関節内障など)により顎関節構成軟および硬組織に種々の形態変化が生じる。これらの変化は、進行/破壊性であることは希で、一連の形態変化の多くは関節に加わった障害に対する適応変化であり、臨床的には症状の鎮静化および機能回復に重要な役割を演じている。これらの形態変化は、顎関節構成組織の組織学的変化や生化学的变化が複雑に絡み合って進行している。われわれは、実験的にはウサギ抗原誘発顎関節炎モデルを用いて検討を行ってきた。また、臨床的には顎関節内障に伴う顎関節の適応変化を検討してきた。今回、これまでの研究の概要を紹介するとともに、マイクロ CT を用いた顎関節の経時的形態変化の観察と、形態、病理組織および生化学的变化の同期的観察を目指した研究計画について検討したい。

硬組織疾患制御再建学講座 宇田川 信之  
硬組織疾患制御再建学講座 新井 嘉則